

第29回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

要項

【1】名称 ITA杯 第29回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

【2】主催 日本テコンドー協会（以下、JTA） 会長 河 明生

【3】目的

- 1、日本におけるフルコンタクト・テコンドーの普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
 - 2、日本で一番強いテコンドー家＝無差別級王者をフルコンタクト・テコンドー・ルールで決定する。
 - 3、体系化された蹴りの武道を表徴する蹴武の型のチャンピオンを決定する。
 - 4、本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンドー」を目指す。
- 5、本大会収支が黒字・赤字にかかわらず毎年20万円を福島県運営「福島子供寄付金」宛に寄付する（7年目。当該基金は東日本大震災で親をなくした青少年に対する奨学金等の支援を目的とする）日本は地震大国であり、地震のない地域はない。誰でも被災者になりうる客観的状況にある。大地震やそれに伴う大津波は天災であり、人智では防ぐことはできない。ところが福島県は他の被災地とは異なり「原子力発電安全神話」をねつ造した国家的詐欺の被害者であり、未だ放射能の恐怖に脅かされている。つまり天災に加えて人災を被った県なのだ。そして当該東京電力福島原子力発電所は、JTAの発祥地・東京、基盤といえる神奈川県への電力を供給することを目的に作られたのだ。我々はこの事実を忘れてはならない。JTA七大精神に基づき微力ではあるが当該基金に対する支援をJTA宣言に基づき23年間続ける。

【4】開催日時

2018（平成30）年11月24日（土）17:00開演

【5】開催場所

後楽園ホール

東京都文京区後楽1-3東京ドーム・シティー内 TEL(03)3817-6092

【6】出場資格と出場種目制限およびその例外

- 1、出場資格は、ITA本部ホームページにおいて選抜・推薦された健康な有段者に限る。
- 2、出場種目の制限と例外
 - 1) JTA法・能力実力集中法にもとづき、個人戦の組手と型に選抜・推薦されていたとしても、いずれか1種目を選択しなければならない。
「2018年度、A級蹴士（含準A級蹴士）」は、複数種目参加（最大3種目）を認める。
 - 2) A級男子組手出場は、参加し選抜された予選会時、40歳以下であることを要する。
その場合、全日本FT大会当日、満41歳であっても出場を認める。

【7】試合種目・表彰

一、組手試合

注意 全ての種目は参加人数の変動により、2～3位を表彰しない場合がある。
大メダルは、優勝者を除き2勝以上とする。
エントリー数が一定数に達していても事故防止等により3位決定戦を実施しない場合がある。
本年度は、女子A級と女子B級との差がないので統合する。

フルコンタクト・テコンドー・ルール

1、男子組手A級無差別級試合

2018年度フルコンタクト・テコンドー王者

優 勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
準優勝 大銀メダル、大賞状
3 位 大銅メダル、大賞状

2、女子組手無差別級試合

2018年度フルコンタクト・テコンドー女王

優 勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
準優勝 大銀メダル、大賞状

3、壮年部組手無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状
準優勝 銀メダル（JTAオリジナル）、大賞状

4、男子組手B級無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状
準優勝 大銀メダル、大賞状

ライトコンタクト・テコンドー・ルール

5、高校生男子組手無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状
準優勝 銀メダル（JTAオリジナル）、大賞状

6、中学生男子組手無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状
準優勝 大銀メダル、大賞状

7、少女部組手無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状
準優勝 銀メダル（JTAオリジナル）、大賞状

8、小学生男子組手無差別級試合

優 勝 大金メダル、大賞状

二、蹴武の型試合（男女混合）

注意 蹴武型試合はすべて男女混合試合である。
全ての種目は参加人数の変動により、2～3位を表彰しない場合がある。

1、蹴武の型A級

2018年度 日本跆拳道蹴武型王者

優勝 トロフィー、大金メダル、大賞状
準優勝 大銀メダル、大賞状
3位 大銅メダル、大賞状

2、蹴武の型B級

優勝 大金メダル、大賞状
準優勝 銀メダル（JTAオリジナル）、大賞状

3、少年少女部型（中学生・小学生男女混合）

優勝 大金メダル、大賞状
準優勝 銀メダル（JTAオリジナル）、大賞状

4、団体戦

優勝 楯、金メダル（JTAオリジナル3名分）、大賞状
準優勝 楯、銀メダル（JTAオリジナル3名分）、大賞状

三、最優秀選手賞

ITA杯

1名

次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

四、第30回全日本FT大会シード権

1、男子A級組手「ベスト4」、女子A級組手「優勝者」、壮年組手「優勝者」、蹴武の型「ベスト4」
には2019年11月23日（土曜日）午後5時、後楽園ホール開催が確定している
第30回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会の出場権を与える。

2、男子A級組手優勝者以外は、かならず予選会に最低1回は参加しなければならない。
ただし、試合結果・順位は問わない。

五、蹴美新人賞

大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。但し、該当者がいない場合もある。

【8】試合ルール

すべての種目は、J T A本部ホームページに公開しているとおりのである。選手は必ず一読。

一般男女組手は、

J T Aフルコンタクト・テコンドー・ルール

(技有り・一本勝ち、蹴美7will、勝者負傷の場合限定の敗者復活戦、最高審判長審議等)

壮年部組手は、

J T A壮年部フルコンタクト・テコンドー・ルール

高校生、中学生、小学生の組手は、

J T Aライトコンタクト・テコンドー・ルール

蹴武型は、3種類にわけられる。

A級蹴武型ルール

B級蹴武型ルール (含む少年少女部型)

団体戦蹴武型ルール

以下、全日本F T大会における上記ルールの確認、特別ルール、注意事項を明記する。

一、組手試合

1、組手試合時間

1) 一般男女・高校生

- ① 1～3回戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)
- ② 準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)
- ③ 3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)
- ④ A級男女決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(3R以内)
*決勝戦は、進行状況に応じて2分2Rにする場合がある。
- ⑤ その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

2) 中学生の男女

- ① 1回戦～決勝戦 本戦1分30秒1R。 延長戦1分30秒1R(1R迄)
- ② その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

3) 小学生

- ① 1回戦～決勝戦 本戦1分1R。 延長戦1分1R(1R迄)
- ② その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

2、滑り止めスプレーやコンタクト・レンズの禁止など

- ① 男子A級以外は、J T A指定のヘッドギア（青もしくは赤）を着用しなければならない
- ② J T A指定の自己所有の黒帯道衣（高校生、中学生、小学生は例外）、手・足のテコンドー防具（青もしくは赤）を持参し着用しなければならない。
いずれも中古品は認めない。
上記に違反した場合、大会当日、即失格処分とする。参加費は返金しない。
大学生はとくに注意（過去、男子大学生の虚偽が発覚）。
万一、発覚を免れ入賞したとしても、虚偽発覚次第、失格とする。
成績は無効とし、トロフィー、メダル、賞状は自己負担で本部に郵送しなければならない。
写真撮影上、防具が壊れていたり、テープで補強（とくに色違いのテープ）してはならない。
青防具を所有している選手が赤防具所有の選手から貸与を受けることは認める。
- ③ フルコンタクト・ルールの組手出場選手は、安全上、マウスピースを着用しなければならない。
ただし、無色透明に限る。色の付いたマウスピースは禁止する。
- ④ 男子は、ファールカップを必ず着用（道衣の中）しなければならない。
- ⑤ 手のバンテージや蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。
- ⑥ 上記以外の防具（スネ・膝・肘などのサポーター）の着用やテーピングなどは、
事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。
なお、白色のスネサポーターは限る。黒等の色のついたスネサポーターは着用を禁止する。
- ⑦ 試合で着用した防具、テーピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。
- ⑧ 打撃系格闘技でコンタクト・レンズの着用は、失明等が生じ危険であるため禁止している。
時間節約のため着用の事前確認をしないが、万一、着用していることが発覚する所動作
（ずれたものを元に戻したり、落としたものを探す動作等）を行った場合、減点2＝負けとする。
- ⑨ 少年少女部の組手選手は、J T A指定の胴防具（自己所有に限る）を着用しなければならない。
貸与は行わない。
ただし、次の場合、特例として貸与する。
イ、飛行機で移動する遠方の選手（飛行機の荷物制限等を配慮する）
ロ、上記、胴防具を所有している選手
参加申込書送付時に「胴防具貸与希望書（様式随意）」を添付すること。氏名とサイズを明記
- ⑩ 滑り止めスプレーは使用を禁止する。発覚次第、失格とし、一人当たり罰金3万円を徴収する。
前年度、全日本F T大会において使用した者が複数おり、
その足跡が後楽園ホールの床にたくさん付着し
専門清掃業者しか取れないと指摘され、清掃料を支払うはめになった。
来年度から会場使用料の値上げを通知されており、
全日本F T大会の持続的使用に支障をきたすため使用を禁止する。

その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

4、壮年部、高校生、中学生、小学生は、
事故防止のため顔面への突きと
回し蹴りを禁止する。J T A本部HP参照

5、組手審判

1) フルコンタクト組手

- ①主審1名、副審2名、蹴美審判1名の4名とする。
- ②最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。
- ③準決勝戦および決勝戦に直属の弟子（独立した者は除く）が進出した場合、該当審判は交代する。

2) ライトコンタクト組手（蹴りおよび突きの強打の全面禁止）

- ①主審1名、副審2名の3名とする。
- ②最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。
- ③準決勝戦および決勝戦に直属の弟子（独立した者は除く）が進出した場合、該当審判は交代する。

二、蹴武の型（個人戦）

選手は青または赤の襷を黒帯の背後にしめなければならない。
試合終了後、選手は担当実行委員に襷を返却しなければならない。

1、A級蹴武型

J T A本部ホームページ参照。全日本F T大会予選会のとおり。

ただし、「全日本F T大会限定・A級蹴武型補完ルール」が優先される。

- ①選手は1回戦から決勝戦までトーナメント戦を行う。
- ②A級蹴武型は少数激戦となる。ここに「全日本F T大会限定・A級蹴武型補完ルール」を定める。

原則 A級蹴武型は1回戦より準決勝戦迄、自由型と指定型の2つの型を演武しなければならない。
自由型は連続して演武することはできない。よって選手は、2つの自由型を準備すること。

演武順序1 1回戦から準決勝まで同時に自由型を演武する。審判は自由型の勝敗を明らかにする。

演武順序2 次いで同様に同時に指定型を演武する。審判は指定型の勝敗を明らかにする。

勝敗 自由・指定いずれも、同じ選手が連続して勝利した場合は問題が生じない。
問題は、たとえば、A選手が自由型で勝利し、B選手が指定型で勝利した場合である。
この場合、より難易度が高い指定型で勝利したB選手を勝者とする。

自由・指定の演武中に途中棄権した場合は、自由・指定の結果にかかわらず失格とする。
勝敗は、一方が最後まで型の演武を終えた時点で、主審が勝利者宣言を行う。
両者とも途中棄権した場合は、両者失格とする。

決勝戦 決勝戦に進出した2名は、それぞれ後楽園ホールリング上で自由型演武を1つ行う。
決勝戦はもっとも得意とする自由型が望ましいので、
準決勝で演武した自由型であっても連続して演武することができる。

決勝戦で演武を失敗した場合は表彰しない。
たとえば、決勝戦進出者がいずれも演武を失敗すれば優勝者・2位の表彰は無しとする。
なお、3位が繰り上げ表彰されることはない。

2, B級蹴武型、少年少女部蹴武型

JTA本部ホームページ参照。全日本FT大会予選会のとおり。

- ①選手は1回戦から決勝戦までトーナメント戦を行う。
- ②選手は参加申請時に「蹴武の型B級指定型届出書」を提出しなければならない。
- ③選手は主審がひいた「蹴武の型B級指定札」に該当する上記届出書の型を演武しなければならない。
ただし、決勝戦および3位決定戦は自由型を演武することができる。
- ④延長戦も同様とする。
ただし、本戦でひいた「蹴武型B級類型札」は取り除くものとする。
- ⑤演武を失敗した場合は表彰しない。たとえば、決勝戦でいずれも失敗すれば表彰なしとする。

3, 蹴武型審判

- ①3名とする。
- ②最高審判長は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

三、蹴武の型（団体戦）

1, 蹴武型団体戦の決勝戦進出団体

- ①団体戦の選手は3名（男女混合、一般・壮年と少年少女部の混合チーム可）とする。

- ②1チームずつ、予め申請書に届け出た自由型Aを演武し、上位2～3チームを選抜する。

2, 蹴武型団体戦の決勝戦

上位2チームは1チームずつ予め申請書に届け出た予選とは別の自由型Bを演武し勝敗を決する。

演武を失敗した場合は表彰しない。たとえば、決勝戦で3チームとも失敗すれば表彰なしとする。

3, 蹴武型審判

個人戦に準じる。

四、セコンド

- ①セコンドは、JTA現役会員に限る。OB・OG、休会中の者は不可。
- ②組手は3名以内、型は1名とする。
- ③禁止事項
私服は禁じる。セコンドにふさわしい服装を義務づける。元会員やOBは不可。

【9】ドーピング検査

- 1、選抜された選手は、ドーピング検査に協力し、拒否することはできない。
ドーピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。
- 2、万一、試合終了後のドーピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合失格とし、氏名を公表し、永久追放とする。その場合、順位を繰り上げる。

【10】大会出場申込書類・申し込み締め切り

1, 必要書類等

- 1) 大会出場申込書 (含む誓約書・ドーピング検査許諾書) 1通
壮年部は、「扶養家族 (保護者) 同意書」を提出しなければならない。
- 2) セコンド登録およびコメント確認書 1通
- 3) 正装写真 (5cm*5cm、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可) 1枚

毎年、上記の規格を守らないで送る者が若干存在する。永遠に若い。
その場合、書類不備として失格とする。振り込まれた参加費用は失格のため返金しない。
写真の裏に氏名を明記。明記していない場合はパンフレットに掲載しない。

- 4) 3ヶ月以内の簡易健康証明書 1通
(様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可)
医者等の資格がない親が「健康である」とする書類は認めない。
保健所発行の簡易健康証明書可 (最も廉価である)
交付先の事情で提出が締め切り期限まで間に合わない場合、後日郵送でも構わない。
その場合、送付日を明記すること。

特例) 毎年春に実施される健康診断書の提出について

健康証明書の提出につき古参選手から

「経済的負担が大きいいし、発行まで3週間かかってしまいます。
会社で毎年4月に実施している健康診断書ではいけないのでしょうか」という要望があった。
健康診断書の提出の最大の目的は、選手の命を危険にさらさないことである。
第二の目的は、全日本F T大会を目指している会員のため全日本F T大会を継続するためである。
健康でない者を出場させて死亡事故等が生じ、
遺族に裁判を起こされた場合に遺族側が主張するであろう団体としての過失責任の減殺にある。
健康ではないのに格闘技の試合に出場させたという過失である。
死亡事故が発生したとしても訴訟提起の有無は事故当事者にならないとわからない。
だが、最悪のことを念頭におくのが団体のトップとしての責任である。
他方、選手の経済的負担の軽減もはからなければならない。
そこで下記要件を満たした場合に限り、毎年4月頃、会社や官公庁、学校等で実施されている
「健康診断書の現物」(終了後返却)の提出でも可とする。

- 要件1 本年3月以降の全日本F T大会予選会に参加していること
要件2 会社や学校の健康診断が本年4月以降に実施されていること。
要件3 持続的に所属道場の練習に参加していることを所属クラブ長や監督が証明できること
これは次の「念書」への指導者サインが必要
要件4 自筆の「念書」を提出すること。
次の文章を20歳以上は自筆で、20歳未満は親が代筆で書き、
氏名(未成年者は代筆保護者氏名)、生年月日、年齢、現住所、記名捺印を明記すること。
「私は健康です。3ヶ月以内の健康診断書の提出が経済的に負担です。
毎年春会社(または在籍学校)で実施されている健康診断書の提出を希望します。
万が一、死亡または失明等の高度障害の当事者になっても自己責任とします」

5) 電子メールによる選手写真およびデータのマステック社（パンフレット作成業者）への送付

本年度よりパンフレット作成の労力低減と時間的短縮をはかるため下記の必要事項をマステック社・深沢氏宛に、締切り期日の11月1日迄、電子メールで送付して下さい。

ただし、メール送付は1回のみとする。

昨年度、何度もさしかえ、修正メールを送った者がいるが、1修正メールにつき罰金1万円とする。

改訂されれば、その都度、費用が生じることを認識しなければならない。

送付先電子メールアドレス（製本業者宛） jtauketsuke@gmail.com

本文記載事項（かならず順序通り、番号を省略しないで明記。不備がある場合、パンフには掲載しない）

選手氏名（パンフレットに旧字を希望する場合は旧字。難解な旧字は自ら作成しメールで送ること。
その作業を怠った場合は新字となる）

① JTA 段位

② 所属クラブの正式名称 名称の統一（毎回、統一性をもたせるための校正が大変なため）

- ① 「**テコンドークラブ」は「***TC」と表記。「スクール」を使用しないこと。
- ② 「JTA***TC」と冠する必要なし。「**TC」と表記。
- ③ 「**・**TC」等、「・」を省略
- ④ 大学体育会は「**大学体育会」と統一

③ 年齢（2018年11月24日時点の満年齢）

④ 身長と体重（投函日3日前）

組手は全種目が無差別級（男子90kg迄、女子70kg迄）であり、延長戦で決着がつかない場合、体重が勝敗基準となる。

大会当日の計量は申告体重の確認となり、司会は基本的にパンフレット記載の申告体重を伝えるため著しい乖離があると会場から失笑を買うので体重変動の激しい選手は注意しなければならない。

⑤ 出身地（出生地） 例）東京都大田区、神奈川県横浜市、福岡県筑紫野市、長崎県佐々町等。

⑥ 個人戦組手選手の場合は得意技、個人戦型および団体戦型選手の場合は得意型

得意技は下記の通り名称と漢字を統一すること。

踵落とし蹴り、回し蹴り、後横蹴り、捻り蹴り、前蹴り、横蹴り、後回し蹴り、後掛け蹴り
飛び蹴りの場合は、上の技の前に「飛び」を冠すること。

⑦ 正装写真（デジタルカメラで撮影した正装写真または道衣写真を添付ファイルで送付）

注意）電子メールで送る内容は、すべて申請書と同じ内容にしなければならない。

2、参加費用（1種目、2種目、3種目、いずれも参加費用は同じです）

一般・壮年・大学生・高校生 15、000円

中学生・小学生 10、000円

3、参加費振込先（振込手数料は振込み人が負担して下さい）

〔ゆうちょ銀行口座〕

10080-72021411

〔名義〕

カ) アイティーエー

注意 ゆうちょ銀行の自己名義の通帳等からゆうちょATMを通じて振込めば手数料は無料です。

ただし、親等の名義ではなく、選手本人の名義で振り込んで下さい。確認ができません。
体育会員の場合、団体ではなく、選手本人が直接振り込んで下さい。

4、申し込み締め切り（厳守）

大会パンフレット（対戦表）作成及び保険契約上、全日本FT大会開催日の約1ヶ月前とします。

締め切り 10月30日迄（消印有効）書留・速達禁止

*本年度に限り、10月28日実施の組手総見時の持参を認める（ポストに入りきらないため）
担当 松兼ひとみ

上記期限迄、申請書が到着しない場合、失格または出場辞退となります。

いかなる事情があろうとも例外は認めず交渉は一切行いません。

パンフレット作成のため必ず期限を厳守してください。パンフレットには氏名以外は掲載されません。

5、上記、書類一式郵送先

〒144-0045

東京都大田区南六郷2-27-6

日本テコンドー協会 御中

注意1 受け取りサインを必要とする書留や各種運送会社による送付禁止。

日本の郵便制度は優れており、届かなかったことはありませんので普通郵便で送付して下さい。
速達料金を節約すべく余裕をもって郵便局へ赴き料金不足が生じないように注意して下さい。

注意2 上記の書類一式は、下記を遵守してください。

- ① 透明のA4クリアファイル（新品。汚れたものは不可）に入れる。
- ② A4の入る封筒を使用。小さな封筒に入れおいたまないこと。
- ③ 必ず郵便局で重さをはかり切手代に不足が生じないようにすること。
切手料金不足は受理しない。この場合、参加費は失格のため返金しない。

注意3 上記のクリアファイルには、1番最初に参加申請書と写真を入れてください。

6、要項に記載されていないことの問い合わせ

全日本F T大会実行委員長 盛島一盛
携帯090-2218-9443 メールkm@jita.jp

【11】注意事項

- 1、理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- 2、試合参加申請書および参加費用振込用紙には、必ず所属クラブ名を明示して下さい。

3、選手は必ず各種保険証の現物を持参して下さい。

- 4、後楽園ホールには、ペットボトルや缶の飲み物を持ち込まないで下さい。
- 5、ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。大会主催者と後楽園ホールは一切責任を負いません。
- 6、全日本大会のテレビなどの放映権、書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利はすべてJ T Aに帰属します。
- 7、ビデオ撮影は原則的に禁止です。

8、すべての選手は、全日本大会当日の午後2時00分にYMCAアジア・ユースセンター国際会議室（J T A総会開催場所）に集合し、選手受付を済ませなければならない。

遅刻した場合は、理由の如何を問わず失格処分とする。

9、申請書に記載されている体重が、男子80kg以上、女子60kg以上の選手は計量を実施します。

【12】観覧（有料）全席自由席

チケット販売先

J T Aクラブ、チケットびあ、セブンイレブン、後楽園ホール、ファミリーマート

一般（高校生以上）、非実行委員クラブ長・同好会長	当日3500円（前売り3000円）
小学生・中学生	当日2000円（前売り1500円）
未収学者	無料

第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査承諾書

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合（たとえば、歯の骨折など）治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により本大会への参加を希望します。
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。
死亡・後遺障害（失明等）組手選手5千万円、型選手1千万円、入院1日6千円、通院1日4千円
- 6、私は、所属クラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるドーピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、エントリーした場合、かならず貴大会に出場します。
病気・入院、親族のご不幸等、正当な理由無く欠場した場合、反則金10万円を支払います。
- 9、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJTAに帰属することに同意し、誓約します。
一本負け等のシーンをDVDやインターネット等を通じて公に配信することに同意し、繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。
- 10、大会終了後、「JTA信義法」に背き除名された場合、本大会および過去の全日本大会での入賞取り消しに同意し、獲得したトロフィーやメダル等は送料を負担し、すべてJTAに返却します。
上記の一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

申請者 住所

(ふりがな)

氏名 印 現段 段

電話 緊急事故時の電話

生年月日（西暦） 年 月 日生（ 歳）

身長 Cm、 体重 Kg 血液型 型 *必ず記入

所 属 組手・得意蹴技 型・得意型

出身地 都・道・府・県・外国 市・町 出身

前年度全日本大会、本年度予選会で選手本人が最も実力が発揮できたと認識している成績

- 1
- 2

出場種目（○印） 男子組手A級 / 男子組手B級 / 女子組手 / 壮年組手
高校生男子組手 / 中学生男子組手 / 少女部組手 / 小学生男子組手
蹴武型A級 / 蹴武型B級 / 少年少女部蹴武型

蹴武型団体戦団体名 (予選自由型A 決勝自由型B)

第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会参加 扶養家族・保護者誓約書
大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約します。

危険性の高いフルコンタクト・テコンドー・ルールにもとづく壮年部または一般部の全日本F T大会への出場を希望する「夫または子（以下、甲。高校生・18歳未満選手も含む）」の意志を尊重し、上記の試合の出場に同意し、下記事項を誓約いたします。

- 1、私は、「フルコンタクト・テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、甲が自らの意志により本大会への参加を希望しており、その意志を尊重します。

それゆえ試合において如何なる事故が生じても、甲の自己責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。

- 2、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。

如何なる事故が起きようとも、損害賠償、慰謝料、治療費等を名目に訴訟を起こしません。

大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。

死亡・後遺障害（失明等）組手選手5千万円、型選手1千万円、入院1日6千円、通院1日4千円

- 3、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべてJ T Aに帰属することに同意し、誓約します。甲の一本負け等のシーンをDVDやインターネット等を通じて公に配信することに同意し、繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。

上記に一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

試合参加者（甲）

氏名

誓約者と甲との関係 妻 、 子 、 保護者・親 、 その他（法律上の関係 ）

住所

（ふりがな）

氏名

印

電話

緊急事故時の電話

誓約者生年月日（西暦） 年 月 日生（ 歳）

第29回全日本F T大会セコンド登録参加申込書

申請選手

印

所属

1, 私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは現役会員のみ。OBは不可。有料チケット必要>

メインセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級

2, 全日本フルコンタクトセコンド選手権大会 選抜者コメント&入賞者コメントおよび道衣写真

J T A本部HP上に注目選手（主催者が選抜）を掲載するので

jtataekwondo@gmail.com

迄メールで速やかに送信して下さい（下記、○または期日を書き込み）

1) 大会前 抱負・思い・決意等の文章（11月1日迄。厳守）

①送信しました

②11月1日迄送信します

2) 大会後 入賞者の感想（11月27日迄。厳守）

①了解しました

3) J T A黒帯道衣着用デジタルカメラ写真（11月1日迄。厳守）

注意 生活感のある自宅等の背景が認められる場合は掲載しません。道場・体育館・屋外で撮影

組手出場選手の写真1ポーズ ファイティングポーズ、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

型出場選手の写真1ポーズ 半後屈立ち+七龍の構え、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

①送信しました

②11月1日迄送信します

蹴武の型 B級・少年少女部 演武届出書

第29回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会

大会会長 河 明生殿

私は、蹴武型（B級／少年少女部）試合において次の蹴武の型を演武します（○をして下さい）。

届出選手名 (所属)

1、十字（ジュウジ）系蹴武型 および 士（サムライ）系蹴武型

- ①南洲・前蹴りの型 ②青淵・回し蹴りの型 ③龍馬・横蹴りの型
④武蔵・後ろ横蹴りの型 ⑤謙信・後ろ回し蹴りの型

2、刀槍（トウソウ）系 蹴武型

- ①清衡・捻り蹴りの型 ②義家・踵落とし蹴りの型

3、静流円麗（セイリュウエンレイ）蹴り系蹴武型

- ①柳韓・飛び踵落とし蹴りの型 ②忠武・飛び捻り蹴りの型
③若光・飛び後ろ回し蹴りの型 ④乙支・飛び後ろ横蹴りの型

4、四方蹴り系

- ①関羽・飛び横蹴りの型 ②張良・飛び回し蹴りの型 ③聖徳・飛び前蹴りの型

5、決勝戦または3位決定戦時の自由型（上記以外の型であれば判定において有利になる場合がある）

蹴武型名